【特集】読の市来場者 396 人に聞いてみた！本好きのリアルな読書事情

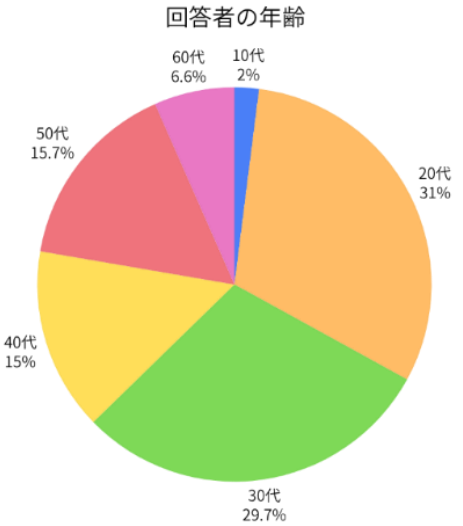
26 年 2 月に初開催し、3 万人以上が来場した「読の市」。協賛社様の大日本印刷株式会社（DNP）が運営する「外濠書店」ブースにて、来場者 396 名にアンケートが実施されました。今回は、そのアンケート結果を読の市特集版としてご紹介します！

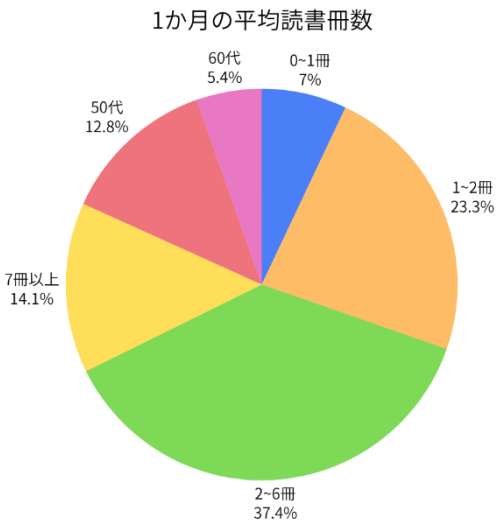
【実施概要】読書が“続く理由”についてのアンケート調査
・アンケート実施：大日本印刷株式会社（DNP）
・実施期間：2026 年 2 月 21 日（土）～23 日（月）
・対象：「読の市」イベントへの来場者
・回答数　：396 件
・実施方法：対面によるアンケート用紙の記入

アンケートでは、読書を日常的に楽しんでいる方たちが、どのような場面や環境で生活に取り入れているかを伺っています。
「本好きは、普段どんなふうに本を選んでいるんだろう？」
「忙しい毎日の中で、どうやって読書を続けているの？」
そんな疑問を解決する、本好きのリアルな読書との向き合い方。あなたの読書スタイルを変えるヒントがきっと見つかるはず！

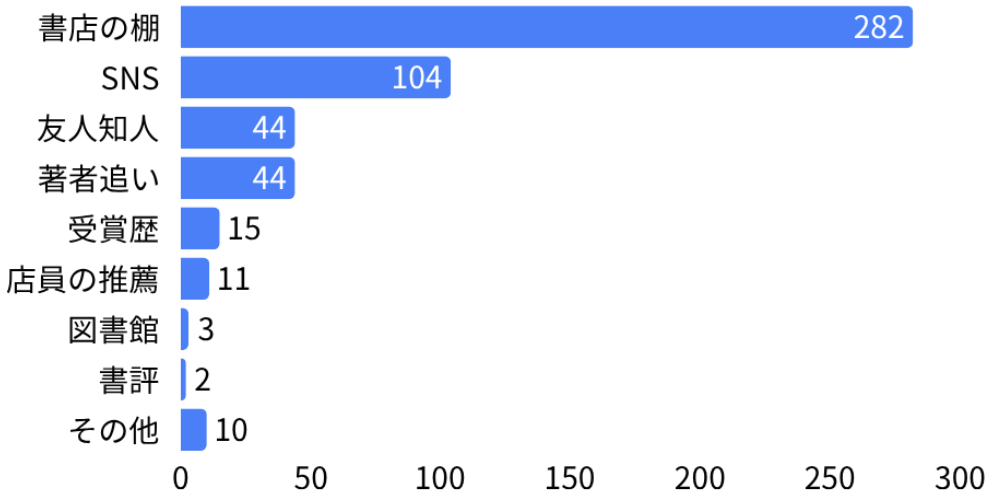
■毎月 2～6 冊読書をする人が最多！

回答者は、なんと“読書離れ”が懸念されている 20～30 代が中心。また、毎月 2～6 冊読む人が最も多く、読書を日常的に楽しむ人たちが集まったことが分かります。※読書の対象は紙書籍か電子書籍かを問わず、ジャンルの限定はしていません。そんな本好きの皆さんの読書スタイルについて、リアルな声をのぞいてみましょう。





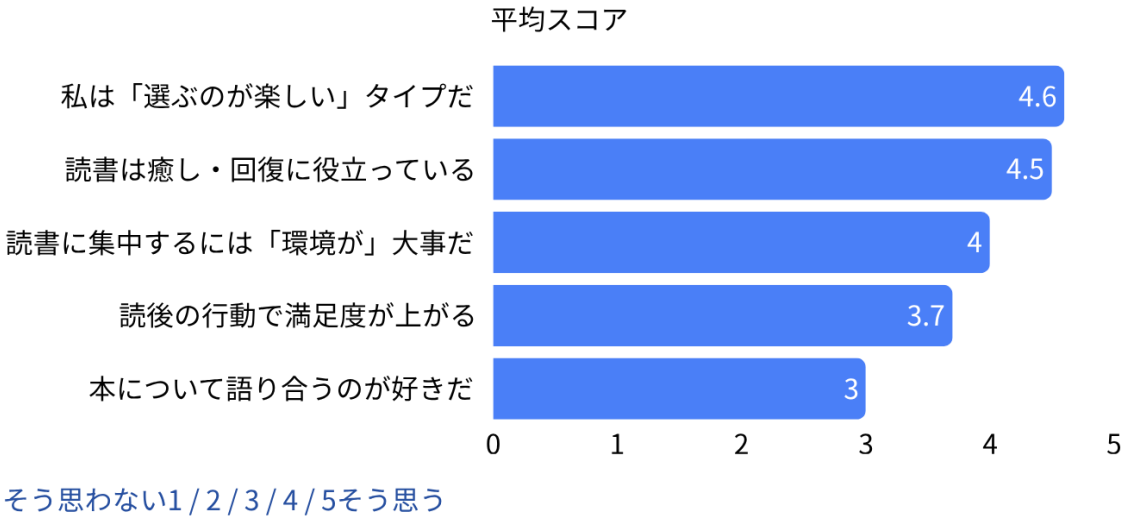
■本との出会いは、どこから？（複数回答可）



本との出会いは、やっぱり書店が一番

SNS やネットで本を知る機会が増えた今でも、実際に棚を歩き偶然目に留まった一冊を手に取る体験は、やっぱり特別。読の市でも、「思いがけない一冊との出会い」を楽しんでくださる方が多く見られました。

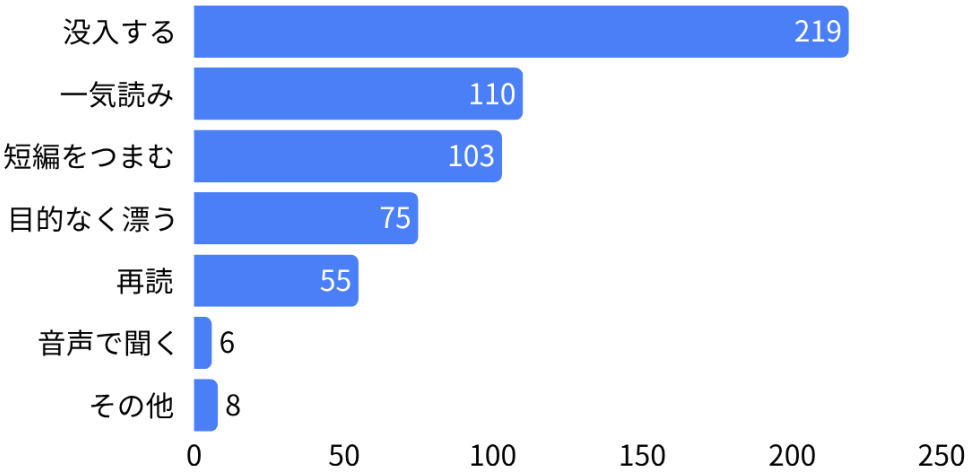
■読書の魅力や行動について



「知識を得る」よりも「選ぶ」楽しさ

読書がどんな魅力があり、続けられる理由となっているのか、「本を選ぶ楽しさ」「癒し」「知識との出会い」など、5つの視点から聞いています。「知識が増える」よりも、「選ぶ時間が楽しい」「癒される」が上位。本から情報を得るだけではなく、「今日はどんな本に出会えるかな」と棚を眺める時間や、ページをめくりながら心を落ち着かせる時間そのものも、多くの人にとって大切な読書体験になっているようです。

■読書で一番癒される瞬間は？（複数回答）



本に浸る時間が、心をととのえる

「物語や文章に没入する時間」という回答が最も多く集まりました。
短時間で情報を得ることが求められる毎日だからこそ、本の世界に没入する時間は、心を整える大切なひと時になっているのかもしれません。

■忙しくても読書を続けるコツ、教えてください！（自由記述回答をもとに作成）

読書を続けるコツは、意外とゆるい！？

「移動時間に読む」や「本を持ち歩く」など、ライフスタイルと読書を組み込む工夫が多く寄せられました。さらに印象的だったのが、「積読」。「読めなくても、とりあえず近くに本がある。」そんな気軽な距離感こそが、読書を続ける秘訣なのかもしれません。

最後に

今回のアンケートから見えてきたのは、本は"読む"だけではなく、選ぶ楽しさや、偶然の出会い、心がほっとする時間も含めて、多くの人に愛されているということでした。

読の市が提案するのは、そんな本の時間にゆっくり浸る「読書浴（どくしょよく）」という体験。店主との会話で思いがけない一冊と出会い、自分のペースで本と向き合う。そんな時間が、心を整え日々を少し豊かにしてくれるでしょう。
読の市でも、ぜひ"お気に入りの一冊"を探しに来てください！

次回開催はこちら

※本記事は、第１回読の市に出店された大日本印刷株式会社「外濠書店」ブースで実施されたアンケート調査をもとに、読の市 HP 向けに再構成・転載しています。

■DNP 大日本印刷株式会社
■外濠書店
「本が読まれ続ける未来」を目指し運営する書店。「外濠」の名は、DNP が第一工場を開設した市谷の地、DNP の出版印刷業の原点を象徴している。市谷にある実店舗は、より多くの方に本に興味を持ってもらうため、今までにない「本との出合い方」を提供する実験書店。amazon ストアは、海外で出版された書籍を国内でオンデマンド製造し、ご注文ごとにお届けするオンライン書店。
X：https://x.com/sotoborisyoten?s=20
amazon ストア：Amazon.co.jp: 外濠書店（運営：大日本印刷（DNP））